NEXT 走る村うるぎプロジェクト―ランニングを核とした交流人口・関係人口の創出―

スポまち！表彰2026
⑭長野県売木村

＜目標＞

計画期間：令和8年度～令和10年度（2026～2028年度）

年間3,000人の来訪を、再訪・交流・消費・関係人口へつなげる

R11までに

合宿者1,727→3,000人へ
交流人口・関係人口創出／村内消費・交流への波及





＜ＰＲポイント＞

人口460人の村に、3,000人が走りに来る

標高800～1,000m
400mトラック・起伏・清流・温泉・食ランタメとの官民連携

〈現状・課題〉

合宿受入れ 3,000人規模から減少、コロナで激減
2017年：3,053人 → 2024年：980人 → 2025年：1,727人

課題：①受入体制 ②走る環境 ③魅力の発信不足
合宿者を**「一度きりの来訪者」で終わらせず**、再訪・交流・地域内での経済循環・関係人口へつなげる。

〈総合的な取組内容〉

「呼ぶ・走る・泊まる・つながる・また来る」を一体化 → **「合宿誘致」から「地域との継続的な関係づくり」へ**

01.受け入れる
宿泊・食事・温泉・施設を一体で案内
合宿誘致・受入体制の強化。
受入後アンケートの実施。

02.安心して走れる
安心して練習できる環境づくり
走る環境の整備・見える化し、
初めて訪れるランナーでも
安心な設備や情報を整備する。

03.きっかけをつくる
訪れるきっかけを増やす
村内練習会や大会、合宿型イベントを
実施。関西圏の大会等とも連携し、
来訪機会を創出する。

04.滞在を楽しむ
「練習場所」ではなく「また来たい滞在地」へ
温泉、地元食、農産物、自然、
村民交流などを合宿に組み込み、
地域資源と組み合わせた
滞在価値の向上を行う。

05.つながる・また来る
再訪者・ファン・応援者・関係人口へつなげる
参加者情報や満足度を蓄積、
再訪営業、招待施策、商品・SNS発信等を
通じて、再訪・関係人口に
つなげる仕組みづくりを行う。



＜継続的な取組を確保できる体制（図）＞

NEXT走る村うるぎプロジェクト

むらづくり連携室(売木村)

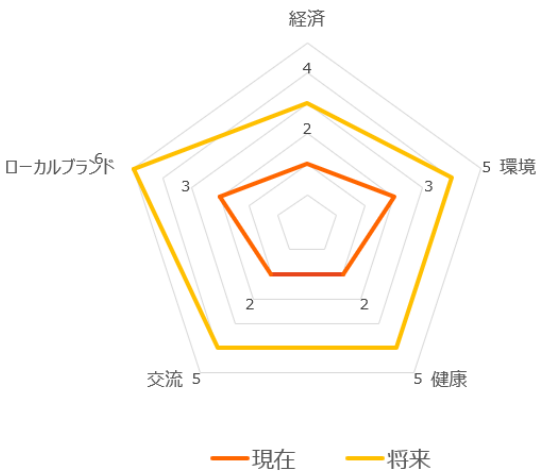
連携協定企業(ランタメ)



地域活性化起業人



＜セルフチェックシート＞



【フォローアップ欄】令和８年度以降における計画の進捗状況

問合せ先・電話番号
売木村役場　産業課
0260-28-2311　sangyo@urugi.jp